

研究主題

未来を築く「活かす学力」の育成

～「確かな学習」と「豊かな学習」との運動を通して～



研究仮説

- 仮説1** 学習意欲が高まるような導入の工夫をすれば、児童は主体的に学習に取り組むであろう。
- 仮説2** 学習形態や場の工夫により、つなげて話したり考えたりする場を設定すれば、児童の学びは深まるであろう。
- 仮説3** 1単位時間の中に活用の場を位置づけて、習ったことを活かして既習をつなげて解決する学習を継続すれば、児童に活用する力が身に付くであろう。

平成25年10月22日(火)

七尾市立山王小学校

研究の検証 (Check)



児童アンケートの結果 (H24-388名, H25-379名の比較)



教師アンケートの結果 (H24, 25比較)



教師アンケートの結果 (H25-9月)



成果 (●) と課題 (■)

- 児童の授業に対する意識が向上し、習ったことを活かして学習する児童がふえた。
- 山王スタイルを作成・共有し、意識して授業に取り組むようになった。
- 1学期は基礎・基本の定着に重点を置いたため、活用を意識した授業や帯タイムの取組が十分にできなかった。

今後の取組 (Action)

- ・豊かな学習につながる「山王学習スタイル」の確立と評価・改善。
- ・児童の学習面や意欲面での検証計画と実施・改善。

